

筑波大学理療科教員養成施設紀要

第6巻 第1号

教育 研究 臨床

令和3年3月

筑波大学理療科教員養成施設
Acupuncture and Physical Therapy
Teacher Training School

筑波大学理療科教員養成施設紀要
令和3年3月25日発行 第6巻・第1号

目次

【巻頭言】

理療科教員と理療科教員養成の喫緊の課題とは？
緒方昭広 …………… 1

【原 著】

特別支援学校理療科生徒の坐骨神経鍼通電実習における正確な刺鍼部位決定
のための指導法の検討
工藤 滋、岡 愛子、原 早苗、和田恒彦 …………… 5

【症例報告】

片側性中等度急性感音難聴に対する鍼治療により聴力が完全回復した1症例
名嘉山和成、松澤 真、本岡太心、原 稔、神尾友信、濱田 淳 …………… 15

【論 説】

特別支援学校（視覚）の在り方を考える
安田英俊 …………… 21

【資 料】

平成25年自立教科担当教員（理療）講習会／教員免許状更新講習より
「五行論の誕生と医学的発展」講義資料（その2）
林 克 …………… 27

視覚障害教育の現状と課題～令和2年度全国盲学校長会調査～
木村利男 …………… 41

理療科で用いられる鑑別テストの原典および関連文献
—第1回 取り扱う文献データ（予定）—
TKB-ICOPE …………… 45

【活動報告】

理療科教員養成施設活動報告（令和2年度）
和田恒彦 …………… 51

理療科教員養成施設学生数および就職状況（平成27年度～令和2年度）
緒方昭広、徳竹忠司 …………… 56

理療科教員養成施設理療臨床部患者数（平成27年度～令和2年度）、
理療科教員養成施設臨床専攻生および理療研修生の状況（平成27年度～令和元年度）
濱田 淳 …………… 57

編集規定・執筆規定
紀要編集部 …………… 59

編集後記
濱田 淳 …………… 62

筑波大学理療科教員養成施設

筑波大学理療科教員養成施設紀要

令和3年3月25日発行 第6巻・第1号

目 次

【巻頭言】

理療科教員と理療科教員養成の喫緊の課題とは？

緒方昭広 …………… 1

【原 著】

特別支援学校理療科生徒の坐骨神経鍼通電実習における正確な刺鍼部位決定
のための指導法の検討

工藤 滋、岡 愛子、原 早苗、和田恒彦 …………… 5

【症例報告】

片側性中等度急性感音難聴に対する鍼治療により聴力が完全回復した1症例

名嘉山和成、松澤 真、本岡太心、原 稔、神尾友信、濱田 淳 …………… 15

【論 説】

特別支援学校（視覚）の在り方を考える

安田英俊 …………… 21

【資 料】

平成25年自立教科担当教員（理療）講習会／教員免許状更新講習より
「五行論の誕生と医学的発展」講義資料（その2）

林 克 …………… 27

視覚障害教育の現状と課題～令和2年度全国盲学校長会調査～

木村利男 …………… 41

理療科で用いられる鑑別テストの原典および関連文献
—第1回 取り扱う文献データ—

濱田 淳、他 …………… 45

【活動報告】

理療科教員養成施設活動報告（令和2年度）

和田恒彦 …………… 51

理療科教員養成施設学生数および就職状況（平成27年度～令和2年度）

緒方昭広、徳竹忠司 …………… 56

理療科教員養成施設理療臨床部患者数（平成27年度～令和2年度）、
理療科教員養成施設臨床専攻生および理療研修生の状況（平成27年度～令和元年度）

濱田 淳 …………… 57

編集規定・執筆規定

紀要編集部 …………… 59

編集後記

濱田 淳 …………… 62

筑波大学理療科教員養成施設紀要 編集規定

(2018年2月20日)

1. 筑波大学理療科教員養成施設（以下「理療科」）は教育・研究に係わる雑誌を発行する。
雑誌の名称は「筑波大学理療科教員養成施設紀要」（以下「紀要」）とする。
2. 本誌は理療の教育・研究・臨床に関する価値ある論文で、国内外の他雑誌に掲載されていない、或いは現在投稿中でない論文を掲載する。
3. 本誌は原則として、年1回発行する。
4. 紀要掲載文の区分は以下の通りとする。
 - 1) 原著論文（査読有り）
 - (1) 理療教育、視覚障害教育に関する研究論文
 - (2) あん摩マッサージ指圧、鍼、灸（以下「あはき」）を含む物理療法に関する基礎研究及び臨床研究論文
 - 2) 総説
 - (1) 視覚障害教育の主張及びあはき基礎・臨床研究・レビュー
 - 3) 報告
 - (1) 理療及び視覚障害教育実践報告
 - (2) あはき症例報告
 - (3) 理療臨床部活動報告
 - 4) 資料
 - (1) 卒業生進路状況
 - (2) 求人、就職状況
 - 5) その他
 - (1) 論説
5. 投稿文章は別に定める執筆規定に従い執筆する。
6. 紀要の編集及び投稿論文の審査をするために紀要編集委員会をおく。しかし論文の内容により外部に査読を依頼することがある。論文の採否は、原則として本会が決定する。
7. 投稿文章の筆頭者は、理療科に関わりがあると本会が認めた者とする。
8. 著作権は本会に帰属する。
9. 原稿は原則として返却しない。
10. 本紀要は医学中央雑誌および、つくばリポジトリに掲載される。

筑波大学理療科教員養成施設紀要 執筆規定

(2018年2月20日)

1. 原稿の構成

原稿の区分に限らず本文は10,000字以内（英文原著では4,500語以内）、和文抄録は500字以内、英文抄録は300語以内、キーワードは5個以内、引用文献は30以内、写真・図・表は計10個以内とする。

原稿は和文または英文とする。

1) 原著論文、総説、報告

(1) 表紙（論文タイトル、著者名、所属機関名）、抄録、キーワード（3～5）、本文、倫理委員会による承認に関する記載、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …で記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

2) 資料、その他

(1) 表紙（タイトル、著者名、所属機関名）、本文、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …上付きで記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

2. 用紙・書式

1) 用紙はA4サイズで横書きとすること。原稿はワープロまたはパソコンを用い、12ポイントで、本文は40文字×40行で作成のこと。

2) 項目の階層は以下の通りとする。

I, II, III …, 1, 2, 3 …, 1), 2), 3) …, (1), (2), (3) …, ①, ②, ③ …, a, b, c …, (a), (b), (c) …

3. 用語・単位

1) 和文は、口語体、当用漢字、新かなづかい、ひらがなまじりを用い、句読点・かっちは1字と扱う。外国語、外国人名、地名、機器名は原語のまま用いる。ただし一般に日本語化している外国語はカタカナを用いてもよい。

2) 度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, μg, mg, g, kgと記す。

3) 年号は西暦とする。

4) 数字はアラビア数字を用いる。

5) 数字・英字は全て半角とする。

4. 文献

文献は引用文献に限定し、表記は以下の通りとする。

1) 雑誌中の論文の場合

引用番号(本文中の引用順とする) 著者名(著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする): 論文タイトル(副題も含め全て記載する). 掲載誌名(正式略名とする), 巻(号); 起始頁 - 最終頁, 発行年(西暦で記載する)

例) 1) 宮本俊和, 和田恒彦, 白木仁: 身体調整の運動と意義—鍼灸・マッサージと運動の科学—. 体育の科学, 61(10): 752-758, 2011

2) Naruto Yoshida, Naoyuki Kobayashi, Akihiko Masunari, et al., Changes in the muscle reaction time of ankle periarticular muscles by balance training. J Phys Fitness Sports Med, 2 (4); 493-500, 2013

2) 書籍の場合

引用番号(本文中の引用順とする) 著者名(著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする): 表題. 書名. 編者名(編者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする). 版数. 発行者(社). 発行地. 起始頁 - 最終頁, 発行年(西暦で記載する)

例) 徳竹忠司: 理療と倫理. 医療と社会. 盲学校理療科用図書編纂委員会編. 改訂第4版. 医道の日本社. 東京. 105-119, 2013

3) 電子文献の場合

上記の印刷媒体の引用方法に従ったうえ、URLおよび参照日付を記載する。

4) 私信、未刊行物、投稿中の文献の場合

リストに入れず、本文中で説明するか、または脚注として示す。ただし、印刷中のものは文献欄に上記の引用方法で記載し、末尾に(印刷中、英文の場合はin press)と記載する。

5. 提出物の仕様

1) 投稿表(本紀要の巻末に付録)

(1) 筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

(2) 年月日・タイトル・筆頭執筆者名・筆頭執筆者連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)

2) 印刷物(2部)

「1. 原稿の構成」に従い作成した印刷物

3) データ

「1. 原稿の構成」に従い作成したデータを、文章はワードを、図・表はパワーポイント、エクセルを用いて保存したCD

6. 原稿送付先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学理療科教員養成施設内
紀要編集委員会(担当: 徳竹忠司)

TEL: 03-3942-6303

FAX: 03-3942-6335

E-mail: tokutaketadashi@icloud.com

編集後記

前号に引き続き、大東文化大学 林克教授の講義資料を掲載いたしました。図表の配置場所選定に悩みました。フリガナが小さくなって判別しにくくなっている所がありますが、ご容赦ください。

また、貴重な資料を提供していただいた林先生、貴重な文章を投稿していただいた先生方、まことにありがとうございました。

私事になりますが、定年が近くなって参りました。現在やっていることが最後となる業務が出てきました。この紀要の編集も、最初で最後になるかもしれません。今後は、理療科教育に有用な情報を発信していくことに専念して、これまで取り散らかしていた成果をまとめて、本紀要に掲載していただくようにしたいと思います。

編集委員 濱田 淳

筑波大学理療科教員養成施設紀要 第6巻1号

令和3年3月25日発行

編集 筑波大学理療科教員養成施設紀要編集委員会
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
TEL : 03-3942-6303 FAX : 03-3942-6335

発行 筑波大学理療科教員養成施設

印刷 株式会社洋文社

投 稿 表

筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

令和 年 月 日 提出

原稿のタイトル： _____

原稿の種類： 原著 ・ 総説 ・ 報告 ・ その他（ ） _____

所 属： _____

筆頭執筆者 氏 名： _____

筆頭執筆者 連絡先：(住所) _____

(電話番号) _____

(E-mail) _____

紀要編集委員会記入欄	
受付年月日	令和 年 月 日
受付番号	

キ リ ト リ

投稿控え (以下に上記と同内容を投稿者が記入)

原稿のタイトル： _____

原稿の種類： 原著 ・ 総説 ・ 報告 ・ その他（ ） _____

所 属： _____

筆頭執筆者 氏 名： _____ 殿

紀要編集委員会記入欄	
受付年月日	令和 年 月 日
受付番号	